

2018年(平成30年)12月期
第3四半期累計(1月1日～9月30日)
連結決算の概要

花王株式会社

2018年10月24日



KaO

自然と調和する ころ豊かな毎日をめざして

このプレゼンテーション資料はPDF形式で当社ウェブサイトの『投資家情報』に掲載しています。

www.kao.com/jp/corporate/investor-relations/library/presentations/

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

- 2018年(平成30年)12月期第1四半期より、以下の通り変更しています。
 1. ビューティケア事業を化粧品事業とスキンケア・ヘアケア事業に区分し、従来4区分としていた報告セグメントを5区分に変更しています。
 2. 従来、スキンケア・ヘアケア製品に分類していた乾燥性敏感肌ケア「キュレル」を化粧品事業に、ヒューマンヘルスケア事業に分類していたメンズプロダクツ「サクセス」をスキンケア・ヘアケア事業に組み入れたことにより、前年同期の売上高及び営業利益を組み替えて表示しています。
 3. 日本のコンシューマープロダクツ事業の販売組織を再編したため、前年同期の営業利益を組み替えて表示しています。
- 資料のカッコ()内の数字はマイナス

2018年1-9月の概況と今後の見通し

- 厳しい競争環境が続く中、将来に向けた積極的な投資を行い、消費者の価値観の多様化や流通構造の変化に対応してマーケティング・販売活動を強化。しかし、売上伸長が想定を下回ったことで、投資による固定費の増加や原材料価格上昇の影響を受け、営業利益も想定を下回った。
- 化粧品事業は、中国を中心にアジアが引き続き好調。日本では構造改革が着実に進展し、営業利益率が改善。グローバル戦略ブランドG11を核に売上・営業利益の拡大をはかる。
- スキンケア製品は、日本とアジアが引き続き好調。米国では競合の攻勢に対する新製品発売や店頭展開の強化等により売上の拡大をめざす。
- ヘアケア製品は日本・欧米でマス市場の縮小により引き続き苦戦。改良によるブランドイメージの差別化、デジタルマーケティング施策、店頭強化等により売上の拡大をはかる。
- 欧米のコンシューマープロダクツ事業は構造改革を進めており、事業の高収益化をめざす。
- ベビー用紙おむつは日本と中国で苦戦。中国では現地メーカーの攻勢や値下げ圧力等により売上が減少。原材料価格の上昇や減価償却費の増加もあり、営業利益率が低下。流通との取り組みや価値伝達の強化など、多面的にブランド価値の維持と売上拡大をめざす。
- ファブリック&ホームケア事業は、日本では厳しい競争環境のため前年並みの売上となり、原材料価格の上昇と固定費の増加により営業利益率が低下。秋の新製品・改良品が順調に推移しており、売上・営業利益は回復の見通し。
- 新製品・改良品の発売と、より効果的なマーケティング活動や販売活動の強化等により売上・利益を拡大し、2018年12月期連結業績予想の達成をめざす。

連結決算のハイライト

市場^{※1} (2018年1-9月)

・国内トイレタリー市場伸長率^{※2}: SRI/SCI +1ポイント

・国内化粧品市場伸長率^{※3}: 横ばい

・国内トイレタリー15カテゴリー消費者購入単価^{※4}: +2ポイント

(インバウンドは伸長)

連結経営成績 第3四半期連結累計期間 (1-9月)

【億円】	2017年度	2018年度	前年比%	前年差
売上高	10,802	10,978	+1.6	+176
		為替の影響 ^{※5}	+0.3	+29
		為替の影響を除く実質	+1.4	+147
営業利益	1,378	1,422	+3.2	+44
営業利益率	12.8%	13.0%	-	-
税引前利益	1,374	1,419	+3.3	+45
当期利益	972	1,006	+3.5	+34
親会社の所有者に帰属する当期利益	964	994	+3.1	+30
EBITDA(営業利益+減価償却費+償却費)	1,781	1,868	+4.9	+87
基本的1株当たり当期利益(円)	195.64	202.97	+3.7	+7.33

※1 SRI: 全国約3千店の小売店POSデータによる推計 / SCI: 全国約5万人の消費者モニターによる購入実績データ / SLI: 全国約4万人の女性モニターによる化粧品・スキンケア・ヘアケア製品の購入実績データ [(株)インテージが実施するパネル調査]

※2 化粧品を除くコンシューマープロダクト / 対前年同期比 [SRI/SCI調べ]

※3 対前年同期比 [SLI調べ] (花王定義にて集計・インバウンド分は調査対象外)

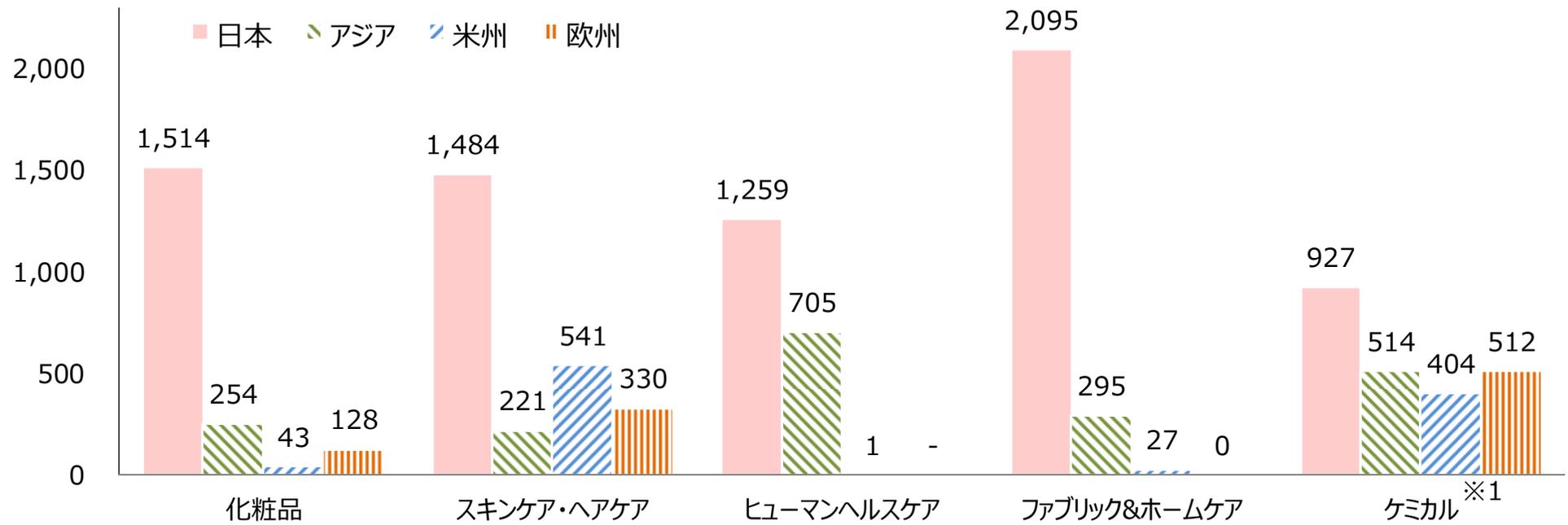
※4 対前年同期比 (2008年1-12月を100とした指数ベース) [SRI調べ]

※5 為替レート: 米ドル=109.65円 / ユーロ=130.98円 / 中国元=16.85円

販売実績

2018年度 第3四半期連結累計期間 (1-9月)

売上高(億円)



対前年
実質
増減率
(%)^{※2}



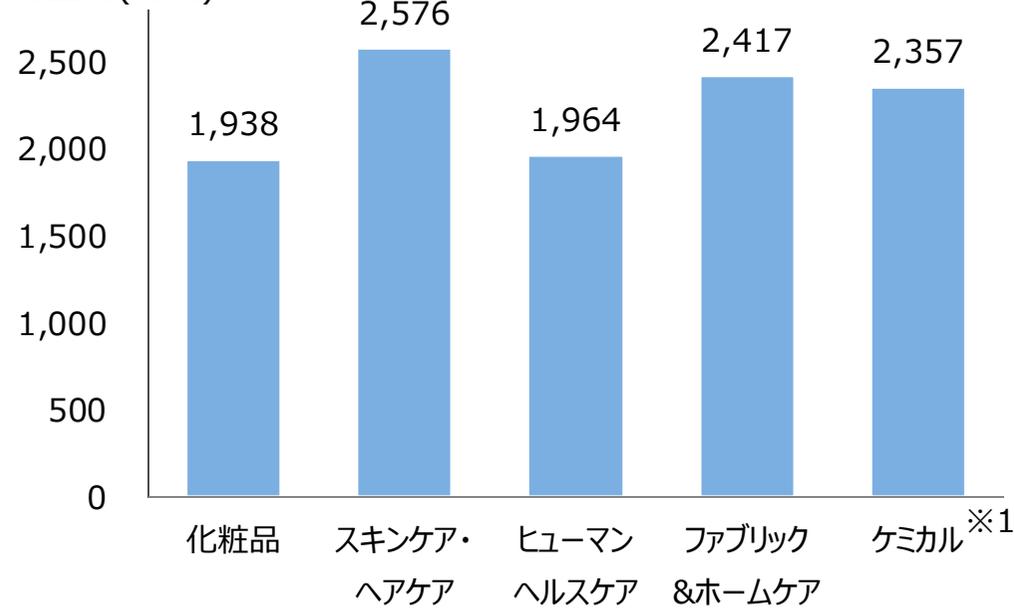
※1 ケミカル事業の売上高はセグメント間取引を含んでいます

※2 為替変動の影響を除く実質増減率

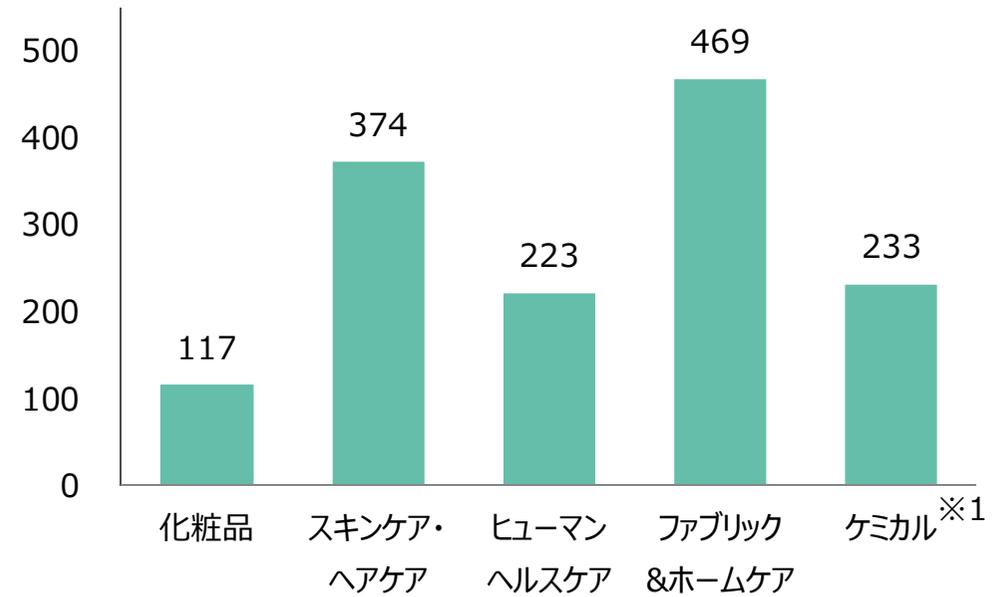
セグメントの業績

2018年度 第3四半期連結累計期間 (1-9月)

売上高(億円)



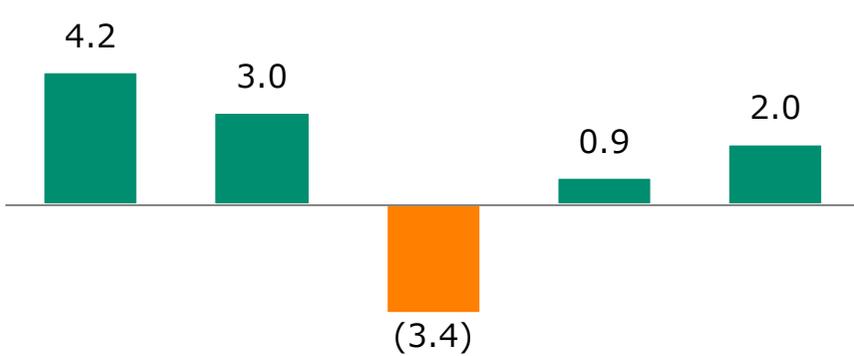
営業利益(億円)



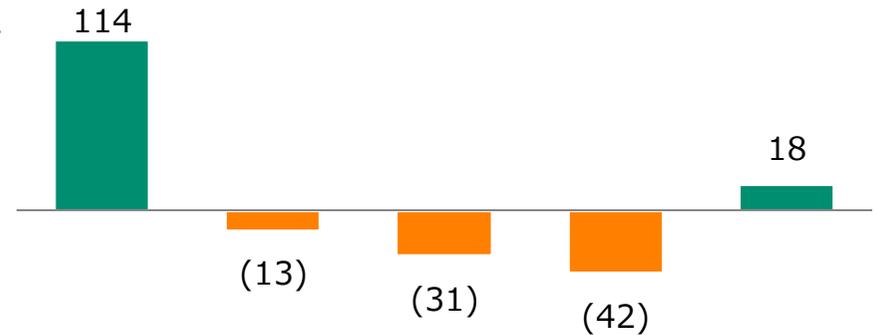
営業利益率(%)

6.0 14.5 11.3 19.4 9.9

対前年
実質
増減率
(%)^{※2}



対前年
増減
(億円)



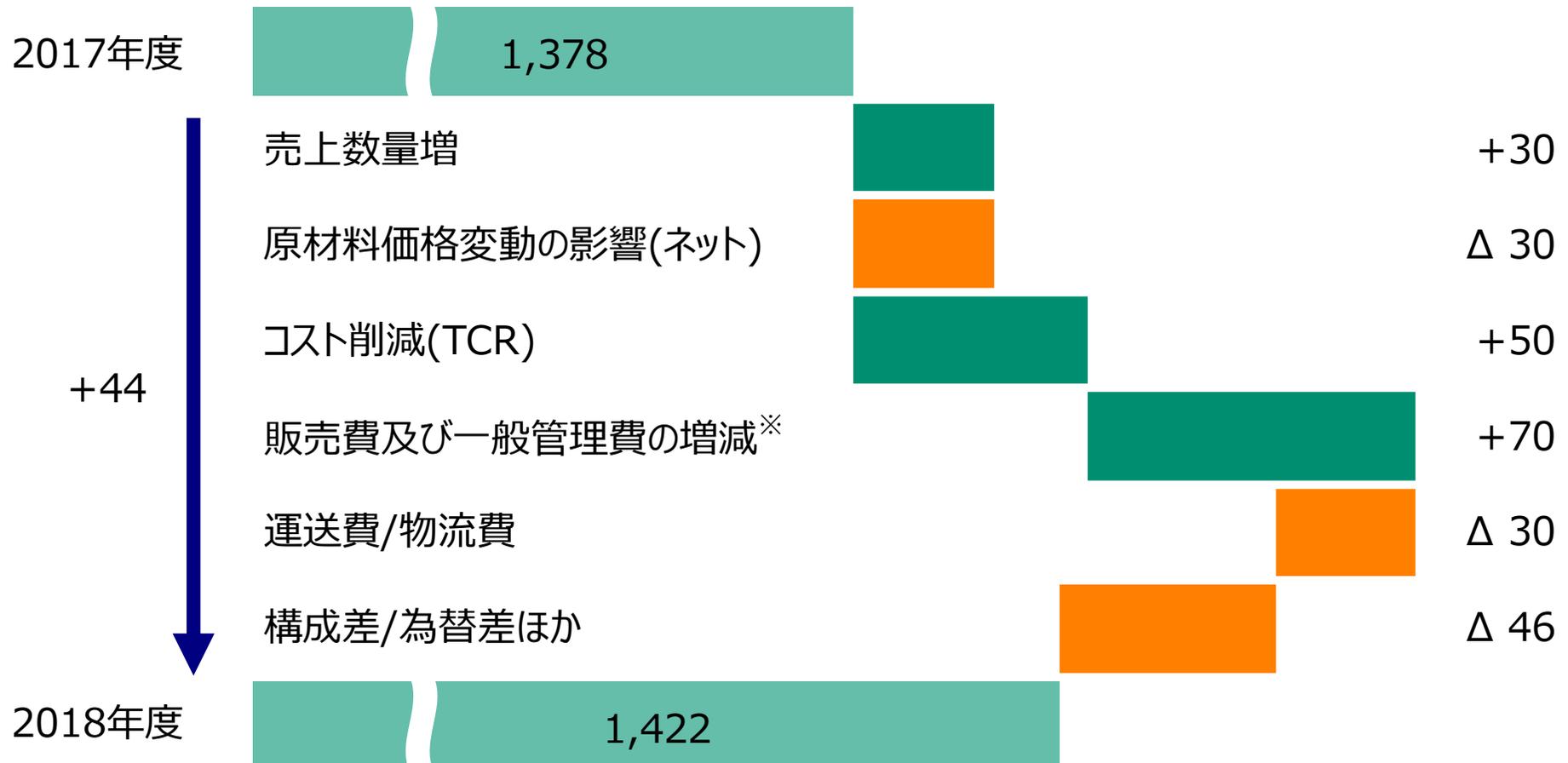
※1 ケミカル事業の売上高・営業利益はセグメント間取引を含んでいます

※2 為替変動の影響を除く実質増減率

連結営業利益増減分析

【億円】

第3四半期連結累計期間 (1-9月)



+44

※ 為替変動の影響を除く実質増減